

環境活動レポート

2009年度(1月~12月)

NEWS !



MFエコマシン 認定第1号(2009.4.1)

プレス搬送ロボットRYN120

2010年 6月3日

 **オリメック株式会社**

2009年度 環境活動レポート

目 次

| | |
|----------------------|-------|
| 会 社 概 要 | 2 |
| 環 境 管 理 体 制 | 3 |
| 役割、責任および権限 | 4 |
| 環 境 方 針 | 5 |
| 2009年環境目標および実績 | 6 |
| 2009年環境活動の取組み結果とその評価 | 7 - 8 |
| 2010年環境目標および環境活動計画 | 9 |
| 環境関連法規への違反、訴訟等の有無 | 10 |

オリメック株式会社

会社概要

《認証登録事業所》

社 名： オリイメック株式会社本社
代 表 者： 代表取締役社長 内田 百馬
所 在 地： 〒259 -1198 神奈川県伊勢原市鈴川 6
環境管理責任者： 取締役常務執行役員管理本部長 高島 一
(連絡担当者)
管理本部総務部次長 阿部有恒
TEL 0463 -93 -0811(代)



本 社

事 業 内 容： プレス加工自動化装置、物流自動化装置の製造および販売
従 業 員： 1 9 3 名 (平成 2 1 年 1 2 月現在)
出 荷 高： 2 4 3 , 4 4 3 万円 (平成 2 1 年度)
工 場 規 模： 敷地 1 2 , 5 3 9 m² 建屋 9 , 9 5 0 m²



本社第 2 工場

《オリイメック株式会社 (全体)》

社 名： オリイメック株式会社
代 表 者： 代表取締役会長 名村 建彦
代表取締役社長 内田 百馬
創 立： 昭和 3 7 年 7 月
資 本 金： 1 4 億 9 , 1 2 5 万円
事 業 内 容： プレス加工自動化装置、精密ばね成形機、F A 機器ほかの製造および販売
従 業 員： 2 9 3 名 (平成 2 1 年 1 2 月現在)
本 社： 〒259 -1198 神奈川県伊勢原市鈴川 6 TEL 0463 -93 -0811(代)
川口事業所： 〒333 -0845 埼玉県川口市上青木西 1 - 1 7 - 2 4 TEL 048 -256 -3511(代)
営 業 所： 郡山営業所 太田営業所 埼玉営業所 諏訪営業所
新潟出張所 神奈川営業所
浜松営業所 豊田営業所 名古屋営業所
大阪営業所 岡山出張所 福岡営業所 広島出張所



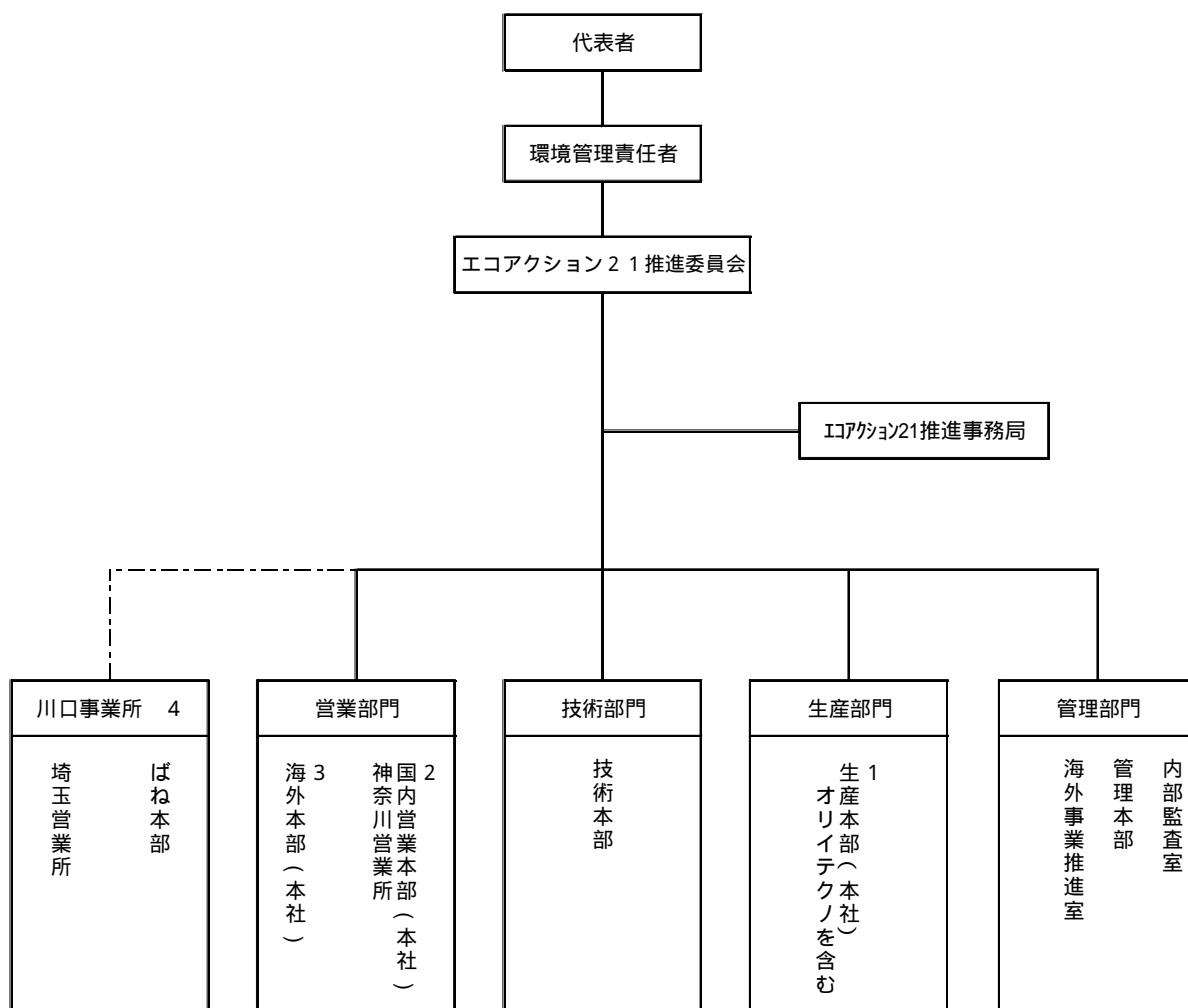
川口事業所

グループ子会社： [製造] オリイ精機株式会社 (鳥取県鳥取市)
オリイテクノ株式会社 (神奈川県伊勢原市)
広州欧立机电有限公司 (中国広東省広州市)
[販売] Oriimec Corporation of America (アメリカ・ケンタッキー州)
Oriimec Corporation of Singapore Pte.Ltd. (シンガポール)
Oriimec (Thailand) Co.,Ltd. (タイ)
欧立美克香港有限公司 (香港)
欧立美克(上海)貿易有限公司 (中国上海)
欧立美克(上海)貿易有限公司東莞分公司 (中国広東省東莞市)

親 会 社： 株式会社名村造船所 (大阪市西区/大阪証券取引所一部上場)

環境管理体制

エコアクション21（環境経営システム）推進組織



1. 生産本部のうち、オリイ精機は含まない
2. 国内営業本部のうち、東日本営業部、中部営業部、西日本営業部は本社に含まない
3. 海外本部のうち、OCA、OCS、OCT、OCH、OCSH、OCGは含まない
4. 川口事業所（ばね本部、埼玉営業所）については、平成22年1月より活動を開始し、平成23年に認証・登録を予定している
5. 各営業所（神奈川営業所、埼玉営業所を除く）については、順次、認証・登録の拡大を予定している

2007. 5.14 制定
 2008. 1. 1 改定
 2008. 7. 1 改定
 2010. 1. 1 改定

役割、責任および権限

| 責 任 者 | 役 割 、 責 任 お よ び 権 限 |
|----------------------|---|
| 社 長 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を発行する ・環境マネジメントシステムの見直し ・環境マネジメントシステム運用のための人的資源および専門的技術、技術並びに資金の確保を行う ・環境マネジメントプログラムの承認をする ・環境目標の承認をする ・緊急事態発生時の統括者として総指揮をする ・不適合および是正の計画内容の承認をする ・環境管理責任者を任命する |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの確立、実施、維持をする ・法規制登録に関する承認および社長への報告をする ・環境マネジメントプログラムの推進と社長への報告をする ・社内外の環境管理に関する情報を統括する ・緊急事態における対応・対策訓練実施の指示をする ・環境マネジメントプログラムの見直しをする ・不適合および是正並びに予防措置の計画内容の実施の指示をする ・環境マネジメントシステムの運用状況を社長に報告する ・緊急事態発生時の統括者代理として指揮する ・環境管理に関する教育、訓練計画を承認する |
| 部 門 責 任 者 | <ul style="list-style-type: none"> ・部門内の運用、監視、測定、環境関連情報、是正処置における統括をする |
| エコアクション 2.1 推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムの構築、実行推進ならびに運営全般の審議、方針を決定する |
| エコアクション 2.1 推進事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部や行政機関からの問い合わせに対する窓口 ・各種資料の作成、文書の保管 ・社内からの情報収集、情報提供 |

環境方針

《基本理念》

オリイメック株式会社本社および川口事業所は、主としてプレス加工自動化装置・物流自動化装置およびばね成形機の製造、販売を行うにあたり、環境に関する法規制を遵守し、また自社内の環境負荷低減に継続的に取り組み、環境保全に配慮した企業活動を行うことで社会へ貢献します。

《行動指針》

- 1．自社内での環境負荷を把握し、その負荷低減を進めます。
- 2．環境に関連する法規制、条例を遵守します。
- 3．省エネルギー、リサイクル活動に積極的に取り組みます。
- 4．全社員へ環境保全の啓蒙活動を行い、意識向上を図ります。
- 5．この環境方針は、全社員への周知徹底を図ると共に、外部からの要求に応じていつでも公開します。

2010年 1月 1日制定

 **オリイメック株式会社**
代表取締役社長 **内田 百馬**

2009 年環境目標および実績

2009 年 1 月から 12 月の活動結果は次のとおりです。

| 環境目標 | | | 2008年度 | 2009年目標値 | 2009年 | 2009年 |
|------|-----------------|--------|------------------------|-----------|---|---------|
| | | | 基準値 | 1%減 | 1月～12月累計 | 目標達成率 |
| 1 | 二酸化炭素排出量 | kg-Co2 | 497,283 | 492,310 | 376,515 | 130.75% |
| | 購入電力量 | kwh | 1,117,998 | 1,106,818 | 756,089 | 146.39% |
| | 車両用燃料 | L | 22,667 | 22,440 | 18,488 | 121.37% |
| | ガソリン | L | 20,427 | 20,222 | 15,941 | 126.86% |
| | 軽油 | L | 2,240 | 2,218 | 2,547 | 87.06% |
| | L P G | kg | 336 | 333 | 276 | 120.52% |
| | 灯油 | L | 3,502 | 3,467 | 777 | 445.98% |
| 2 | 廃棄物等総排出量 | t | 66 | 65 | 41 | 158.54% |
| 3 | 総排水量(水の消費) | m3 | 1,762 | 1,744 | 1,371 | 127.23% |
| 4 | 循環型社会形成のための社会貢献 | | 実施率100% | | クリーンアップボランティアによる工業団地内歩道清掃の実施。 6/7河川クリーン作戦、11/8大山クリーンキャンペーンに参加 (実施率100%) | |
| 5 | エコマシンの開発 | | 二機種達成 | | サーボ搬送ロボット「RYN120」、 レベラフィーダ「LCC06PU」 二機種のMFエコマシン認定取得 (日本鍛圧機械工業会) | |
| 6 | エコアクション21の推進 | | 川口事業所認証・登録 スケジュール作成 | | スケジュール策定・決定 | |

・第二工場を7月で閉鎖(移転先にて12月より再稼動)したことにより、第二工場分実績は7ヶ月分を年換算して集計しています。

2009 年度は生産高で前年比約 4.7%の減少となったことや、休業を実施した影響も大きく、二酸化炭素排出量や廃棄物等総排出量は、目標を大きく上回った結果となっています。

二酸化炭素排出量、廃棄物等総排出量について、前年に比較して生産量が大幅に減少したことの影響はあるものの、これら目標の達成のために各部門において個別の目標を設定し、また目標達成のための取組を策定、実行へと展開し、低減活動の徹底を図りました。

焼却していたゴミを分別の徹底からリサイクルへと転向し、極力焼却量を減らしたことで、灯油の使用量は目標を大幅に上回りました。

燃費の良いディーゼル車を積極的に使用したことで軽油の使用量は増加となりましたが、車両用燃料全体では目標達成となりました。

厨房や手洗い所での使用に留まり、生産量の増減にはあまり影響しない総排水量や L P G については取組活動の成果が大きく反映されているものといえます。

その他の推進活動として、ゴミ分別実施の定着及び分別教育のため、各部門においてゴミの分別パトロールを実施、またエコアクション 21 推進委員会によるエコパトロール(電力量等負荷低減できるものの発見、無駄のチェック)を月に 1 度実施しています。

なお、2009 年度の実績値については、生産量の大幅な減少から平常時のものとは捉えられず、2010 年度の目標については、生産量も平常時に戻ることを想定し、2009 年度目標値の 1%減として取組みます。

2009 年環境活動の取組み結果とその評価

| 環境活動へのインプット、アウトプットに関する項目 | チェック結果の点数 | | 満点の場合の点数 | | 実施度合(%) | |
|--------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| | 活動前 '08年 12月 | 活動後 '09年 12月 | 活動前 '08年 12月 | 活動後 '09年 12月 | 活動前 '08年 12月 | 活動後 '09年 12月 |
| 省エネルギー、新エネルギー使用の拡大 | 8 | 8 | 18 | 18 | 44.4 | 44.4 |
| 省資源、グリーン購入 | 7 | 7 | 22 | 22 | 31.8 | 31.8 |
| 節水、水の効率利用 | 6 | 6 | 8 | 8 | 75.0 | 75.0 |
| 二酸化炭素の排出抑制、大気汚染の防止 | 22 | 22 | 26 | 26 | 84.6 | 84.6 |
| 化学物質の管理の徹底 | 14 | 14 | 16 | 16 | 87.5 | 87.5 |
| 製品設計に当たっての環境配慮 | 21 | 27 | 36 | 44 | 58.3 | 61.4 |
| 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理 | 51 | 55 | 72 | 76 | 70.8 | 72.4 |
| 輸送に伴う環境負荷の低減 | 18 | 18 | 26 | 26 | 69.2 | 69.2 |
| 建築物の建設、解体などの環境配慮 | 3 | 3 | 4 | 4 | 75.0 | 75.0 |
| 環境保全のための仕組み、体制の整備 | 61 | 61 | 82 | 82 | 74.4 | 74.4 |
| 環境教育、環境保全活動の推奨等 | 10 | 10 | 24 | 24 | 41.7 | 41.7 |
| 情報提供、社会貢献、地域の環境保全 | 6 | 7 | 20 | 20 | 30.0 | 35.0 |
| 合 計 | 227 | 238 | 354 | 366 | 64.1 | 65.0 |

【2009年度環境活動の取組について】

1. 製品設計に当たっての環境配慮

2009年度には、(社)日本鍛圧機械工業会におけるMFエコマシン認証制度の運用が開始され、第1回の募集にサーボ搬送ロボットのRYN120を応募、従来品より18%の消費電力削減(省エネ) 28%の部品点数削減(省資源)で、関連装置部門において第1号の認証(4月1日付認定)となりました。

また、9月には600幅のPM2を高速化したレバラフィーダLCC06PUで、従来機に比べ1.5倍以上の生産性が向上、従来品より72%の消費電力削減(省エネ) 騒音低減により、当社2機種目となるMFエコマシンの認定を受けています。このように、自社において環境保全型商品等を積極的に開発、販売しています。



MFエコマシンに貼付される認証マーク



サーボ搬送ロボット RYN120



レバラフィーダ LCC06PU

2. 廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理

自社から排出される廃棄物については、うがい用紙コップは必要最低限の部署への据付に留める、廃パレットを外部にて再使用してもらう等に取り組み、抑制を図っています。

3. 環境教育、環境保全活動の推奨等

(1) エコアクション21推進委員会の場を利用し、エコアクション21 2009年版への移行および改正省エネ法についての教育を実施しました。

(2) 12月11日(木) 川口事業所全社員を対象に、環境経営システムおよびエコアクション21についての教育を実施しました。

4. 情報提供、社会貢献、地域の環境保全

(1) 以下のとおりクリーンアップボランティアデーと称し、近隣の歩道清掃を実施しました。

| | 実施日 | 天候 | 参加人数 | 備考 |
|-----|--------|----|------|-------------|
| 1月 | 1月29日 | 曇り | 20 | |
| 2月 | 2月26日 | 曇り | 15 | |
| 3月 | 3月27日 | 晴れ | 18 | |
| 4月 | 4月30日 | 晴れ | 8 | |
| 5月 | 6月3日 | 曇り | 24 | 雨天により順延して実施 |
| 6月 | 6月27日 | 晴れ | 16 | |
| 7月 | 7月28日 | 曇り | 13 | |
| 8月 | 8月25日 | 晴れ | 19 | |
| 9月 | 9月24日 | 晴れ | 9 | |
| 10月 | 10月27日 | 曇り | 17 | |
| 11月 | 11月15日 | 曇り | 20 | |
| 12月 | 12月22日 | 晴れ | 17 | |



9月24日の清掃風景

実施時間はいずれも8:10～8:25

(2) 9月より「緑の募金」を実施し、本年度募金額実績は3,360円でした。

(3) 昨年に引き続き「エコキャップ運動」を推進し、NPO法人エコキャップ推進協会(EOCAP)を通じてワクチン33.8人分を提供することができました。

(4) 例年、伊勢原市の主催する次の環境保全活動に参加しており、今年度も継続して参加しました。

2009年 6月7日(日) 河川クリーン作戦(渋田川 道灌橋から上流、下流に1km)

2009年 11月8日(日) 大山クリーンキャンペーン(下社～見晴台～大山ケーブル駅)



河川クリーン作戦



大山クリーンキャンペーン

2010年環境目標および環境活動計画

| 取組項目 | 環境目標 | 施策 | 主管部署 | 対象部署 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
|-----------------------|--|---|---------------------|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|--|
| 1 二酸化炭素排出量の削減 | <p>目標値 487,387Kg-Co2 基準値 492,310Kg-Co2 1%削減</p> <p>電気使用量(購入電力量)削減 目標値 1,095,750kwh 基準値 1,106,818kwh 1%削減</p> | <p>指定した項目の使用量の把握</p> <p>総使用量および特定のエアコン、パソコン、照明の使用量把握</p> <p>各部門・部署における節電活動</p> <p>各部門・部署において目標を策定し、節電活動を実施する</p> <p>できるだけ省エネタイプの機器を導入する</p> <p>電気機器購入の際は省エネタイプの機器も検討し、価格、仕様から総合的に判断して購入する</p> | 総務部 | 全部署 | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料使用量の削減 | <p>目標値 22,216L 基準値 22,440L 1%削減</p> <p>ガソリン 目標値 20,020L 基準値 20,222L 1%削減</p> <p>軽油 目標値 2,196L 基準値 2,218L 1%削減</p> <p>b) LPG 目標値 330kg 基準値 333kg 1%削減</p> <p>c) 灯油 目標値 3,432L 基準値 3,467L 1%削減</p> | <p>ガソリン、軽油使用量の把握</p> <p>エコドライブ(燃費の良い運転)の実施をする</p> <p>各部門・部署における削減活動</p> | 総務部 | 全部署 | | | | | | | | | | | | | |
| 2 総排水量の削減 | <p>目標値 1,727m³ 基準値 1,744m³ 1%削減</p> | <p>灯油使用量の把握</p> <p>効率の良い運用を実施をする</p> | 総務部 | 製造部 | | | | | | | | | | | | | |
| 3 廃棄物排出量の削減 | <p>目標値 64t 基準値 65t 1%削減</p> | <p>使用量の把握</p> <p>節水活動のPR</p> <p>各部門・部署における削減活動</p> | 総務部 | 全部署 | | | | | | | | | | | | | |
| 4 循環型社会形成のための社会貢献 | 実施率 100% | <p>廃棄物のリサイクル促進</p> <p>廃プラの分別を行い、適正な処分(再生、最終処分)をする</p> <p>環境美化活動の月1回の実行</p> <p>河川クリーンアップ作戦への参加(6月)</p> <p>大山クリーンアップキャンペーンへの参加(13月)</p> <p>データ集計</p> <p>環境負荷低減活動の計画、実施</p> | 製造部 生産管理部 総務部 | 全部署 | | | | | | | | | | | | | |
| 5 エコアクション21の推進 | 川口事業所のEA21取組開始 | | 総務部 | 川口事業所 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 各部署で策定する環境関連取組事項の実施 | 省エネ、効率化機種の開発(開発部)、他各部門で設定 | 各部門・部署ごとに取組活動を策定し、実施する | 総務部 | 全部署 | | | | | | | | | | | | | |

2009.2.18作成

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

自主的に遵守状況をチェックした結果、環境関連法規への違反はありません。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間受けておりません。また訴訟等もありません。